

文献検索の方法 課題

担当：森 雅秀（比較文化コース）

1. 『学習理論と精神発達』について
 - (1) 訳書は金沢大学のどこに何冊あるか OPAC で調べよ。
 - (2) 上の本の請求記号が、所蔵場所によって違うのはどうしてか、その理由を考えなさい。
2. 『講座 日本文学と仏教』について
 - (1) 叢書全体が何冊であるかを OPAC で調べよ。
 - (2) Webcat で所蔵機関（大学）を調べ、叢書全体の表示画面に示される所蔵機関数と、第 1 巻の表示画面に示される所蔵機関数をあげよ。その違いの理由を考えなさい。
 - (3) 叢書のタイトルからはこの文献が日本文学と仏教のいずれに分類されているかわからない。NDC からどちらの分類項目に入っているのかを調べなさい。（余裕のある人は、上記の『学習理論と精神発達』と異なり、分類項目がひとつである理由も考えなさい）。
3. マリノフスキー(Malinowski)が書いた図書について
 - (1) 金沢大学所蔵の洋書、和書はそれぞれ何冊か OPAC で調べよ。
 - (2) 著者名をカタカナで検索したときと、英語で検索したときで、和書のヒット件数が違うのはどうしてか、理由を考えなさい。
4. アメリカ・インディアンとエスキモー（イヌイト）の神話の比較研究を行いたいとき、WebcatPlus を用いて参考となる文献を探しだし、適当と思われるもの 3 冊の書誌情報をあげよ。
5. 金沢大学が所蔵する洋書で、大江健三郎に関する研究書の書誌情報をあげよ。
6. Meister, M. W., *Juncture and Conjunction: Planning and Temple Architecture, Artibus Asiae*, Vol. 41, No. 2, pp. 226-234, 1976. という論文が必要となった。入手するために必要な情報は何か、それはどれに当たるか。また国内の所蔵機関を三つあげよ。
7. 2000 年以降に出た学術洋雑誌の中で、西田幾多郎をあつかった英語論文を SwetScan で探し、その中から金沢大学所蔵の雑誌に掲載されている論文の書誌情報をあげよ（1 点でよい）。
8. MAGAZINE PLUS か雑誌記事索引を使って、関心のあるテーマで論文を探し、一番読みたい論文の書誌情報を記せ。
9. 金沢大学図書館の暁烏文庫について、五木寛之氏が朝日新聞に書いた文章を、朝日新聞 DNA で探せ。その日付と文中に登場する明治期の作家の名前を挙げよ。

課題の提出期限は授業終了後 2 週間以内。提出先は文学部 3 階の森研究室 (313)。ドアのところに提出用の封筒を下げておくので、中に入れておくこと。メールによる提出も可。アドレスは以下のとおり。メールの場合は受領の返信を送るので、確認すること。送信後、3 日以上たっても返信がない場合、もう一度送るように。

mmori@kenroku.kanazawa-u.ac.jp

行動科学序論テキスト『人文科学の発想とスキル』（pp. 24-25）

NDC（日本十進分類法）についての補足と訂正

- ・現在 NDC は第 9 版が最新版であるが、金沢大学図書館は第 8 版を使用している。Webcat には両方の分類番号が併記されている（NDC8 の後の数字が第 8 版、NDC9 の後の数字が第 9 版）。
- ・テキストでは「分類記号は基本的に、3桁の数字が使われるが、必要に応じて、小数点以下の桁を使って増やすことがある」（p. 24）と記載されているが、番号中で用いられている点は桁数を示す小数点ではなく、はじめから 3 番目と 4 番目の数字の間に入れられる便宜的なピリオドである。したがって、はじめの三つの数字は百から一の位を表すのではない。たとえば 9 1 0 は九百十ではなく、きゅう、いち、ゼロである。（テキストの p. 25 では百の位を表す云々と記載されているが誤り）
- ・表 3 の NDC 第一次分類項目と、表 4 の NDC 第二次分類項目は、2 番目、あるいは 3 番目の数にゼロが現れるが、これは落とした方が適切。

NDC 第一次分類項目

0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会科学	4 自然科学
5 技術	6 産業	7 芸術	8 言語	9 文学

NDC 第二次分類項目（1 哲学のみ記載）

1 0 哲学	1 1 哲学各論	1 2 東洋思想	1 3 西洋哲学	1 4 心理学
1 5 倫理学	1 6 宗教	1 7 神道	1 8 仏教	1 9 キリスト教

※テキストの表 4 にあるように 1 6 の宗教のみは 1 0 の哲学と同じように、他の項目よりも 1 字分、左に出ている。これは 1 6 の宗教は 1 7 から 1 9 の各宗教と番号上は同じレベルにあるが、実際はそれよりも上位概念であることを示す。

- ・NDC については日本図書館協会『NDC 日本十進分類法』というマニュアルがあり、中央館 2 階の目録のカウンターに常置してある（第 8 版）。同書には索引が含まれ、自分の関心のある分野がどの番号であるかが確認できる。
- ・同書には NDC 全体のシステムも解説されているので、一度目を通すことをおすすめする。参考までに、複数の主題のある文献についての分類規定を一部、以下に紹介する。
 - 1) 複数の主題が扱われていて、とくにどちらが中心としない場合には、最初の主題に位置づける。
 - 2) ただし、4 つ以上の主題が同等に扱われている場合には、それらを含む上位の主題に位置づける。
 - 3) 特定の読者層を対象に書かれた図書は、その読者層を示す分類項目に位置づける。
 - 4) ただし、一般の読者にとっても活用できるものは、対象とされている読者層を配慮せず、その図書の主題に収める。
 - 5) 一つの主題が他の主題に影響を及ぼした場合には、原則として影響を受けた側に分類する。

参考文献

緑川信之 1996 『本を分類する』勁草書房。

文献検索の方法 課題 解答例と解説

担当：森 雅秀

1. (1) 教育学部心理学教室 2冊、中央図書館(開架) 1冊

(2) 教育学部の2冊はNDCが371.4、中央館の1冊は141.3である。前者は教育、後者は心理学にそれぞれ分類されている。

<解説>それぞれの分類は序論のテキストp.25の表4から確認できます。厳密に言えば『日本十進分類法 第8版』より、371.4は「教育学、教育思想」の中の「教育心理学、教育的カウンセリング、発達、学習、人格と適応」を、141.3は「普通心理学、心理各論」の中の「学習、記憶」を示します(本学は『日本十進分類法 第8版』を使用しています)。

2. (1) 10冊

(2) 叢書全体は3、第1巻は270(04年6月17日現在)。表示数に大きな違いがある理由は、叢書全体で登録しているところは3機関のみで、叢書全体をそろえていても、ほとんどの機関は各巻ごとに登録しているため、叢書全体の表示画面ではあらわれないから。

<解説>この問題は、Webcatの叢書全体で表示する画面にあらわれる所蔵機関は、実際に全体をそろえているもののごく一部であることを知ってもらうためでした。正答率がかなり低かったです。一番多かった答えは「叢書の一部を所蔵する図書館は多いが、すべてそろえているところは少ないから」でしたが、これは誤りです。出題者としては、270と3というあまりに大きな数の違いに、おかしいと気付くことを期待しました。課題では第1巻の所蔵機関数をたずねましたが、ために2巻以降を調べれば、ほとんど260以上の所蔵機関数があることがわかります。また、(1)のところで、金大にも10巻すべてそろっていることは確認できているので、叢書全体の所蔵機関に金大が含まれていないことにも、気付くはずですが、複数巻で構成されている叢書などをWebcatで検索した場合、所蔵機関については、全体の表示ではなく、各巻の表示まで進んで確認する必要があることをおぼえておいて下さい。

(3) NDCは910.8なので日本文学に分類されている。その理由は、この叢書は「日本文学」と「仏教」という二つのテーマを扱っているが、「仏教が日本文学に与えた影響」という立場からの叢書なので、影響を受けた日本文学に分類されたと考えられる。

<解説>NDCは910.8は「日本文学」の中の「叢書、講座」を表します。複数の主題を扱う場合、NDCには「一つの主題が他の主題に影響を及ぼした場合には、原則として影響を受けた側に分類する」という分類法則がありました。また、二つの主題が同等に扱われている場合、はじめの主題に分類するという法則もありました。これらの法則は配付資料の中で紹介しています

3. (1) 洋書は8冊、和書は19冊。

(2) カタカナ表記がマリノフスキー以外にマリノウスキ、マリノウスキーなどがあるから。

4. 略

5. Michiko Niikuni Wilson, *The Marginal world of Oe Kenzaburo : a study in themes and techniques*, New York: M.E. Sharpe, 1986.

<解説>大江健三郎をあつかった洋書は他にもあるかもしれませんが、タイトルに大江健三郎(Oe Kenzaburo)が含まれる洋書として、この本がヒットします。大江健三郎のローマ字表記が、kenzaburoの場合、ヒットしないので、困った方が多かったようです。上記のマリノフスキーと同様、他の国の言葉に置き換えるときには、いろいろな表記を試す必要があります。日本人の人名をローマ字にするときは、発音に近い表記が一般的なようです。なお、大江健三郎自身の著作(翻訳)をあげた方がいましたが、問題は「大江健三郎に関する研

究書」です。

6. 雑誌名 : Artibus Asiae
著者名 : Meister, M. W.
論文の標題 : Juncture and Conjunction: Planning and Temple Architecture
巻数 : 41
号数 : 2
掲載ページ : 226-234
発行年 : 1976

<解説>この問題は、実際に論文を入手するときに必要な手続きを知るためのものです。まずはじめに、問題の中の書誌学的データが何を表すかを知る必要があります。雑誌名はイタリック体で表示するのが一般的なので、Artibus Asiae がそれに当たります。その上で Artibus Asiae を OPAC で検索すると、文学部の考古学に一部所蔵されていることが表示されます。しかし、所蔵巻号が 55-56,57(1-2),58-63+となっていて、55巻以降はほぼそろっていますが(63+の+は継続して購入中を表す)、該当巻である41巻は含まれません。つぎに同じタイトルを Webcat で検索すると3つ現れ、このうちはじめのものが該当するので、そこをクリックすると所蔵機関の一覧が表示されます。41巻を所蔵する機関は多数あり、たとえば、上から順に3つ示すと、亜細亜大学、愛知学院大学、京都大学工学部となります。亜細亜大学の名前の後にある24-50のような巻数の表記から、41が含まれていることを確認しなければなりません。以上のことは、図書館のカウンター近くにある『学術雑誌総合目録』で、Artibus Asiae でひいても調べることができます。

なお「論文を入手する」という表現がわかりにくかったようですが、複写を依頼するということです。学術雑誌に掲載されている論文で、その掲載誌が学内で所蔵されていない場合、掲載誌そのものを購入することや、相互貸借することは困難です。直接出向いて、借りたり複写することももちろん可能ですが、一般には図書館を通じての「複写依頼」となります。付け加えておきますと、実際に複写依頼をするときは、上記のデータ以外にも書誌 ID や ISSN が必要となりますが、問題文には含まれていないので、答えには必要ありません(これらは Webcat で表示され、わからなければ図書館の職員の方が調べてくれるはずです)。

7. <解答例> Raud, Rein, 'Place' and 'Being-time': Spatiotemporal Concepts in the Thought of Nishida Kitaro and Dogen Kigen, *Philosophy East and West*, Vol. 51, No. 1, pp. 29-23.

<解説>他にも何件かあるようです。表示画面から OPAC にリンクしているので、クリックすると学内にあれば所蔵場所等もわかります。上記の雑誌は文学部の比較文化研究室にあります。

8. 略

9. 2004年3月8日 二葉亭四迷

<解説>図書館の朝日新聞 DNA で「暁烏文庫」と「五木寛之」で検索するとヒットします。出題者は「明治期の作家」ということで日本人の作家を意図したのですが、ドストエフスキーや暁烏敏そのものを解答とした人もいました。検索して記事にたどり着くことが課題ですので、記事の中に含まれる人名であれば、正解とします。なお、この問題は検索の方法を知ることとともに、本学図書館にあるすぐれたコレクションをあわせて知って欲しいという意図があります。